平成 28 年 9 月 29 日

経済再生担当大臣
石原 伸晃 殿

一般社団法人 日本鉄鋼連盟
会 長 進 藤 孝 生

TPP 協定の早期実現に関する鉄鋼業界の要望について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当連盟に対して格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご高承の通り TPP 協定は、世界の GDP の約 4 割を占める巨大な経済圏において、工業製品の貿易額の 99.9%について関税撤廃を実現する画期的な経済連携協定であります。鉄鋼分野においては、最長でも発効後 11 年目に全ての関税が撤廃されることとなり、また、関税撤廃に加え、貿易上の救済、貿易の技術的障害における保護貿易的な措置の濫用抑止効果が期待される規定が盛り込まれるなど、グローバルに事業展開する鉄鋼業界の競争力強化に極めて重要な役割を果たすものと考えております。TPP 協定は我が国成長戦略の要であり、当連盟としては、TPP 協定の早期の発効により、アジア太平洋地域の安定と繁栄とともに、我が国経済が将来に亘り持続的な成長を確保できるよう期待しているところであります。

つきましては、安倍内閣の強力なリーダーシップの下、今般の第 192 回国会において国内承認手続きが円滑に進むよう、強く要望するところであります。加えて、米国等、日本以外の各署名国に対しても、国内承認手続きが円滑に進むよう、様々な機会を捉え働きかけを行って頂き、TPP 協定が早期に実現するよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具